

平成29年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立矢口特別支援学校		知的障害	通学区域	大田区、世田谷区	
		「家庭との連携と一貫した教育の推進」 -子ども一人一人が人間性豊かに成長し、地域で暮らす力を育成する学校を目指して-			基 本 情 報	進路実績	企業就労率 33.3%(28年度実績)
基 本 情 報	所在地	〒 146-0093 大田区矢口一丁目26番10号	電話番号	03-3759-6715		教 育 課 程 の 特 徴	①
	アクセス	(1) 東急多摩川線武蔵新田駅 下車徒歩5分 (2) (3)		副 籍 実 施 況	②		キャリア教育の推進
設置学部	小学部、中学部		学 校 評 価		③		小中学部教育課程の推進
幼児・児童生徒数	160名(小学部100名、中学部60名)			学 校 評 価	④		教育支援員導入に伴う授業改善に基づいた教員の専門性の向上
学級数	37学級(小学部23学級、中学部14学級)		⑤		地域と連携した防災教育推進と福祉避難所開設訓練の実施		
スクールバス	6台(大型2台、中型4台)		学校評価	回答率(保護者76.0%、教職員100%、地域住民 65%) 保護者肯定的評価率(すべての設問平均)85%、教職員90%(平成28年度分)			
その他	平成29年度社会貢献活動モデル事業 特別支援教育エリアネットワークセンター校(大田区、世田谷区)		ホームページ	http://www.vaguchi-sh.metro.tokyo.jp/			

目指す学校 **一人一人が人間性豊かに成長し、地域で暮らす力を育成する学校**
 ①児童・生徒の可能性を最大限に伸ばし、質の高い教育を実践する。 ②保護者、地域、関係諸機関との連携を図り、地域力を高める。

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価
目標①	自立・社会参加を促えたキャリア教育の充実 ①生活に役立つ力のあいさつ力の充実 校内あいさつ検定の実施 ②専門家連携による清掃力の向上・親子清掃教室の実施 ③地域等における作業製品販売実習の実施 ④キャリア教育の充実とマニュアル作成と活用	①校内あいさつ検定については20名程が実施した。昨年度より5名増加したが、全体的に児童・生徒も日々の積み重ねであいさつをすることが身に付いてきているので次年度に向けて受講率をアップさせたい。 ②清掃検定については、ビルメンテナンス協会の協力を得て清掃の取りくみを検定の受講につなげるように中学部で工夫した。特に清掃検定を取り入れることによって生徒へのスキルアップにもつなげている。 ③区役所販売は、高等部からの引継ぎで中学部が中心となって作業製品を販売した。販売についても生徒や教員が一緒になって取り組むことができた。キャリア教育の充実に今後もつなげていくようにする。
目標②	全校的な専門性の向上 ①校内研究発表会実施(平成30年2月2日)②特別支援学校教員免許状取得率の向上 ③授業OJT体制による授業力の向上 ④大学や専門家と連携した授業改善研究⑤全教員の公開授業と授業自己チェックシートの活用	①平成30年2月2日に実施。小中のつながりをもとに「学びの地図」作りをはじめた1年目であるので小中学部での取り組みの状況発表や今後の方向性について講演を行った。次年度は公開研究発表として取り組む。 ②特別支援学校認定講習受講についてもほぼ100%に近く参加している。取得率も80%ほどに達している。 ③専門性の自己チェックシートも自己申告等で活用し、自分の専門性もOJTを活用して特に若手教員へのつながりを期待する。 ④教育支援員を活用し教員の専門性や児童生徒のアセスメントを検討することで授業改善等につながっている。
目標③	総合力の発揮と効率的な学校運営の推進 ①都立高校との特別支援教育継続的に連携②ミドルリーダーの育成③仮設校舎の安全な学校生活の維持④新校舎建設に向けた計画的な対応⑤都研究指定(新規)社会貢献活動モデル事業の実施⑥地域と連携した総合防災訓練の実施	①これまで関わりのある都立高校と本校コーディネータが巡回指導や講演会を通して特別支援教育の推進や連携を図った。 ②主幹会は毎月1回以上開催。人数構成は少なくなってきたので仕事業務にも工夫や改善が必要になってきている。 ③仮校舎への移転以降、校舎内の児童生徒の安全対策を図り、事故や怪我也も防止に努めている。 ④新校舎計画も基本計画がほぼ出来上がってきているので次年度予定されている旧校舎解体工事につなげていく。

数 値 目 標	今年度の数値目標の内容	26年度		27年度		28年度		今年度		30年度	31年度	32年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	学校公開参加者人数	250	305	300	307	300	347	330	310	330	330	330
目標②	専門性自己チェックシートの活用ポイントアップ率	8ポイント	8ポイント	8ポイント	8ポイント	8ポイント	8ポイント	5ポイント	7ポイント	8ポイント	8ポイント	8ポイント
目標③	マネージメントサイクルによる進行管理率	90	98	90	95	90	90	95	95	95	90	90

